

第03回

- 講演者：渡部 拓也 氏（立命館大学）
 - 題目□Asymptotic transition probability for avoided crossings with a small gap
 - 日時：平成24年6月22日（金）16:30～17:30

複数回交差する2準位エネルギーの擬交差間の遷移確率について考察する．実際には，断熱パラメータ及び相互作用パラメータを含む一階常微分方程式系の大域的な基底変換行列の $\ell(2)$ パラメータに関する漸近挙動を調べるのが目標となる．特に擬交差の近くで，断熱パラメータに関してストークス現象が起こるため，局所的な基底変換行列に問題が帰着される． $\ell(1)$ 位の変わり点におけるストークス現象の解析には完全WKB解析が有効であるが， $\ell(2)$ 位のパラメータの相互関係によっては有効ではない．講演では，完全WKB解析が有効でない場合について，準古典超局所解析を援用することに焦点をあてる．本研究は，M. Zerzeri氏(Paris 13大学)との共同研究である．



.lg-outer.lg-pull-caption-up.lg-thumb-open .lg-sub-html {bottom:80px;}

38 images

[<6>]

From:

<https://wiki.ma.noda.tus.ac.jp/rs/> - (旧)理工学部 数学科

Permanent link:

<https://wiki.ma.noda.tus.ac.jp/rs/seminar/2012/003>

Last update: **2017/11/16 23:34**

